

北光

第 138 号

平成19年8月1日

台湾総会特集号



北光会 (<http://www.hokkokai.com>)

秋田 鉦山 専門 学校
秋田 大学 鉦山 学部 同窓会
秋田 大学 工学 資源 学部

秋田大学工学資源学部は、明治44年（1911年）に秋田鉱山専門学校として新入生を迎えて以来、平成23年（2011年）に創立100周年を迎えることになります。

目 次

巻頭言	呉 裕 慶	1
台湾総会を終えて、これからの課題	菊 地 芳 朗	2
平成19年度総会報告・台湾ツアー	菅 井 幹 夫	3
総会無事終了に寄せて	張 來 銓	18
懇親会 会長挨拶	菊 地 芳 朗	19
台湾旅行記	渡辺 淳吾・高橋 昭三・佐々木 守・土岐 耕一	20
新聞記事		24
学部創立100周年記念		
寄附のお礼と学部の状況について	吉 村 昇	25
募金要項		26
寄附者御芳名		27
研究最前線	高橋 護・城門 義嗣・菅野 良樹	36
本間恒夫名誉教授叙勲		39
寄 稿	細井 義孝・大山 宏・和田 洋	40
北から南から ー支部・クラス会だよりー		45
会員便り		48
母校だより		49
事務局から		50
訃 報		51
編 集 後 記		52

会費納入のご協力をお願いします：このところ北光会会費の納入率の低下が目立っております。特に、若い会員のご協力をお願いします。

表紙写真：台湾ツアー：国立故宮博物院の前での記念写真

台湾総会を終えて、これからの課題

菊 地 芳 朗 (GS34)



会長を拝命して3年が経ち、この度の会長選挙で再選され4年目を迎えました。

秋田大学も独立法人となってから3年を経過しました。最近一番の問題は運営費交付金であります。毎年1%の削減に加え

政府の経済財政諮問会議の民間議員から配分見直しが提起されました。これがこのまま実施されると地方大学の多くは立ち行かなくなる、と云われております。

しかし、ここに来て6月25日の朝日新聞によると『経済財政諮問会議が「競争原理の全面導入」を見送り、ひとまず収まった』と報じておりました。しかしながら、これからも「国際的競争力の強化」や「地域社会への貢献」等に一層努めていかなければなりません。

このようななかで今年の総会は台湾の台北市で行いました。昭和3年に北光会が設立されてから79年になりますが、海外で総会を行ったのは初めてであります。総会には102名、懇親会には145名の出席者がございました。国内の総会と比較しましても近年にない多くの出席者であります。出席されました皆様にお礼申し上げます。

総会の記念講演で簡芳欽氏 (BS40) が述べておられましたが、台湾とは諸先輩による長い交流の歴史がありました。この交流の成果が今回の台湾総会に繋がったものであります。この度の総会が盛会裏に終わることが出来たのは、このような台湾・日本双方の多くの先輩と台湾北光会のご努力、そして関係者のご尽力によるものと感謝申し上げます。これも北光会の伝統の力と、感じ入った次第です。

一方、創立100周年記念の募金状況ですが、昨年の7月から募金を始めて一年を迎えました。

6月末日現在、1,864名（一部企業）の方々から総額6,850万円のご芳志を賜り、大変有り難いことと心からお礼申し上げます。その内、北光会会員からは4,612万円であります。北光会の募金目標は1億円であります。募金期間は平成23年9月30日迄となっており、分割払いも可能です。なお一層のご支援をお願いいたします。また、4月から企業募金も始まりました。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

北光会の課題のなかで、台湾総会と会員名簿の発行はお陰様で無事終わることが出来ました。残された課題は創立100周年事業と会費納入率の向上であります。創立100周年の募金については既に述べました。

会費の納入率は毎年徐々に下がっております。ここ3年を見ましても、平成16年度は31.5%、17年度は29.3%、18年度は26.7%であります。このまま行きますと将来、基金も底を尽き、会の運営が困難になります。これを解決するためにどうすれば良いのか、なかなか良い答えは見つかりませんが、若い会員に関心を持っていただくことが大事と思っております。

今年度に入りまして、北海道と東海北陸支部総会に出席しました。出席会員も年々多くなり、特に平成年度卒業生の出席が多くなってきました。若い方にお聞きしますと、支部総会に参加して良かった、との答を得ており、このことを他の支部の同級生にも伝えていただきたいとお願いしているところであります。

これからは若年層の開発に力を入れ、会費納入率の向上と会の活性化に努めて行きたいと思っております。

今後とも会員皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

北光会は皆様の会費で維持されております。
会費納入率の向上にご協力下さい。

平成19年度 北光会第56回通常総会報告

事務局長 菅 井 幹 夫 (FS40)

平成19年度北光会第56回通常総会・懇親会は、平成19年5月27日（日）、14:00より台北市（台湾）、福華大飯店（ハワードプラザホテル）にて開催された。海外での総会は今回が初めてである。出席者は、徳田弘名誉会員（前学長）、吉村昇工学資源学部長（ES42）をはじめ日本から79名、台湾から23名の合計102名で、日本での通常総会よりも多数であった。定款により菊地芳朗会長（GS34）が議長を務め、議案の審議および感謝状・顕彰状の授与が行われた。

議事とその報告・審議内容の概略は次のとおりである。

(1) 会長選挙結果報告

会長候補者選考規定に基づいて選挙を行い、4月24日（火）に北光会事務室において選挙管理委員（委員長:菅井事務局長）5名の立会のもとで開票した結果、会長候補者として菊地芳朗現会長が圧倒的多数で選出されたとの報告があり、選出された菊地芳朗会長候補者を推薦することを全員一致で決議した。

(2) 役員選出

総会議案書に示された平成19年度北光会 名誉会員・顧問・役員（案）に基づき、名誉会員3名、顧問には新任の渡部充顧問（HS28）を含む17名、会長に菊地芳朗氏（再任）、副会長3名（留任）、事務局長に菅井幹夫（留任）、そして新任3名を含む222名の理事および監事3名（留任）が原案通り承認された。再任された会長の任期は2年。なお、新秋田支部長として渡辺純夫理事（KS25）が就任され、新任の石山大三理事（GS56）が北光編集委員長を担当する。（議案書 [議案2] 参照）

(3) 平成18年度会務および事業報告・決算報告

菅井事務局長より、平成18年度会務および本部・各支部での事業報告、次いで平成18年度決算が報告された。会費納入率の低下に伴い基金

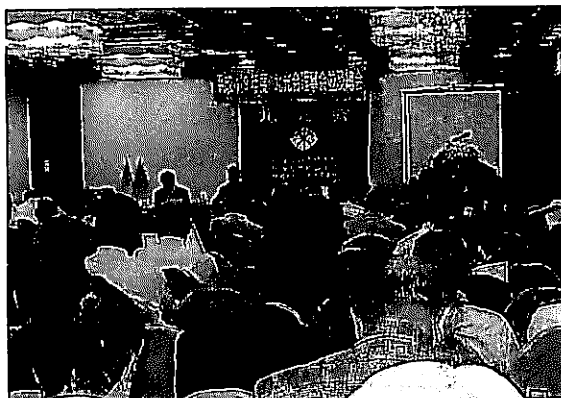
からの補助額が年々増大し、18年度では約369万円となり、新入生からの入会金による収入を差し引いても基金は約200万円の減となり、このままゆくと4～5年で基金が底をつき経常費への補助が不可能となる。このため会費の値上げ、北光の発行回数の削減などの深刻な問題が生じることになるので、会費納入率の向上をこれまで以上に努力しなければならないとの説明がなされた。また、平成18年度の会計監査報告が菅井事務局長より報告（代読）され、承認された。（議案書 [議案3、4、5] 参照）

(4) 平成19年度会務および事業計画・平成19年度予算案

菅井事務局長より、議案書に示された平成19年度会務および事業計画、そして平成19年度予算案についての説明があり、いずれも承認された。（議案書 [議案6、7] 参照）

(5) 学部創立100周年記念事業

菊地会長より、学部創立100周年記念事業について、募金の応募状況が報告され、引続き会員へ募金の働きかけと、企業関係に対して大学側から強く働きかけてもらうとの意向が示された。



(6) その他

1) 名簿の発行

北光会会員名簿（平成19年版）を6月上旬

に1,000部発行の予定であり、すでに500部は予約済み。昭和28年～昭和33年の鉱山学科卒業生の学科記号をBとし、採鉱学科と区別するため、卒業年のあとにMをつけることとした。定価は5,000円。販売は会員のみ。

2) 来年度の総会開催地

平成20年度の総会は秋田支部が担当し、平成20年6月に秋田市で開催することが決まった。(その後、6月21日(土)に秋田キャッスルホテルで開催の予定となった。)

3) 支部内の地区活動

支部内の地区活動に配慮してほしいとの要望があり、今後検討することとした。

以上で議事が終了し、引続いて感謝状・顕彰状授与式に移った。

平成19年度感謝状・顕彰状授与式

選考会議で承認された平成19年度顕彰者は、次の16名(敬称略)。

感謝状

- (台湾北光会) 羅慶蘭 (BS12)、林安熙 (KS19)
楊建基 (BS20)、薛坤華 (MS22)
鍾英明 (BS22)、吳裕慶 (HS37)
簡芳欽 (BS40)
- (北海道支部) 中山弘三 (MS22)
- (秋田支部) 武田政二郎 (KS19)
- (東北支部) 山口恒夫 (MS18)
斎藤二良 (KS19)
吉田博員 (BS19)
- (東海・北陸支部) 富成武雄 (BS23)

顕彰状

- (台湾北光会) (故) 彭新水 (MS17)
(故) 鄭瑞山 (BS18)
(故) 高金福 (MS22)

なお、総会に出席された顕彰者は感謝状の台湾北光会7名。林安熙さんは入院中のためご子息の林文祥さん(DH1)が代理で出席。顕彰状の(故)鄭瑞山さんは奥様が代理で出席された。出席者の一人ずつに菊地会長より感謝状、顕彰

状が授与された。欠席された台湾の顕彰者には台湾北光会の張会長から、日本の顕彰者には北光会事務局から後日それぞれ届けられた。

以上で、第56回通常総会が終了した。



学部の現状報告

引続いて吉村昇工学資源学部長から「学部の現状報告」についての報告があり、学部が取組んでいる課題、各学科の活動状況、学部の将来展望などについて詳細な紹介があり、参加者は関心をもって耳を傾けた。

記念講演会

吉村学部長の報告に続いて、台湾北光会・前会長の簡芳欽氏(BS40)による『台湾の鉱山史』という演題で記念講演が行われた。最初に台湾北光会の歴史について沢山の貴重な写真を示し、これまでの経過が紹介された。懐かしい加賀谷文治郎先生や本多朔郎先生をはじめ、これまで多くの方が台湾を訪れ、その都度台湾北光会の皆さんから温かい歓迎を受けていることが、写真を通して知ることができた。続いて本題の台湾の鉱山史については、台湾で産出される沢山の資源・エネルギーの変遷を、多くの資料に基づいてわかりやすく説明され、これまでの台湾の産業と資源の状況が理解できた。記念講演をして頂いた簡芳欽氏に改めて感謝申し上げます。

懇親会

講演会終了後、18時より懇親会が行われた。